

地方都市における建築遺産のデジタルアーカイブの活用に関する研究

芝浦工業大学建築学部建築学科

岡崎瑠美 

キーワード： 建築遺産, デジタルアーカイブ, 建築教育, フォトグラメトリー

国内の地方都市には優良な建築遺産があるにも関わらず広く知られていないものが多数ある。また近年建物の空き家化や老朽化が加速し、維持管理ができないまま取り壊しがされるものが少なくない。そのような状況下にある建築遺産についてデジタルアーカイブを作成し、建物の記録を残すと共に教育やプロモーションのためのコンテンツとしてデータを利用することにより、地方都市における建築遺産に対する理解を深めることを目指す。建築遺産のデジタルアーカイブの活用方法の一例として本研究では大学における建築教育のためのコンテンツとして使用する。またデジタルアーカイブの作成を建築学生が行うことにより、3Dデータの収集や利活用に関するノウハウを習得する。

デジタルアーカイブを作成する対象としては本土から離れた沖縄県本部町、今帰仁村及び北海道余市町の古民家とした。デジタルデータは建築を学ぶ学生が作成し、それらのデータを大学の授業で利用した。授業ではデジタルアーカイブの手法を紹介すると共に撮影対象とした古民家の概要について説明した。

本研究は建物の空き家化や取壊しが進行する国内の地方都市に焦点を当てたが、国内外の都市部でも再開発等の大規模プロジ

ェクトのため多くの建築遺産が取り壊されている。国内の都市部ではタワーマンションの建設ラッシュが進行しており、昔ながらの街並みが失われている。海外でも経済発展や人口増加に伴い都市部のインフラ整備や開発が行われてる場所では建築遺産の取り壊しが急速に進む。建築遺産のデジタルアーカイブはモニュメントを中心に作成されてきたが、注目を浴びない建築遺産や街並みをアーカイブすることにより人々のアウェアネスをつくり新たな価値をつくることに貢献することができる。



おきなわ郷土村, 本部町の民家



北海道余市町, 旧今邸

図 作成したデジタルデータの事例